「明治地区の教育を考える会」との意見交換会概要

日時	平成２５年　１０月　２６日　（土）　１９：００～２０：４５		
対象団体	「明治地区の教育を考える会」	参 加 者 数	20人
場所	明治地区公民館		
出席者	校区審議室（神谷、小谷、清水）		

	主な意見、質問等	質問に対しての回答
1	ただ学校が無くなるのは嫌ではなく、どんな子供たちを育てていくかを考えていく姿勢が大切という話だった。豊かな自然を背景に感性豊かに育てたいというのが私の思いだ。以前、スポーツ医学の先生から「木登りや一輪車で体全体で全神経を使って遊び、運動神経や感覚を発達させることが大事。高校からスポーツに取り組んでも十分素質は伸びる」という講演を聞いた。小規模校でも十分やれると思っている。市内から子供たちを呼び込むような考えを持つべき。明治小を選んでもらえるような学校をつくりたい。	そういう思いを地域の皆さんで議論して、明治小のあり方を考えて欲しいし具体的な取り組みの検討もお願いしたい。統合に賛成の方もいるかも知れないが、そういう考え方も含めて明治地区としての意見をまとめていただきたい。
2	今日の会はＰＴＡとしても案内したが参加者が少なかった。ＰＴＡ単体でも説明会をお願い出来るか。	神戸地区で地域づくり協議会への説明会を実施した後にも、要望によりＰＴＡに対する説明会を行っている。会合、グループ、人数の大小に関係なく、要望があれば説明に出向いている。連絡いただきたい。
3	校区再編の課題の資料で、明徳小が「地区からの要望がある」とあるが、どういう意味か。	明徳校区に隣接する他校区の町内会を、明徳小の校区に編入して欲しい旨の要望が出されているということ。具体的なエリアも地図で示している。ホームページで公開している。
4	その町内会が、子供たちを是非明徳小に通わせたいというものではないということか。	明徳地区の思いとして要望が出されたもの。先日、その町内会から意見書が出された。内容は現状維持を希望し、校区を変更してもらっては困るとのものだった。
5	地域が存続を方向づけ、小規模への対応策も考えたとする。そういう状況になれば、校区審議会は存続を認めるのか。	校区審議会は地域の意志を尊重して審議を進めていく。事務局の立場として絶対に存続を決定するとは断言出来ないが、地域の思いや今後の対策をしっかり示しているのに審議会が全否定することは考えにくい。地域の思いは尊重されるものと思っている。
6	小規模校としての対策について、地域として出来ることや教育委員会への要望をまとめるということか。その場合、ここの対策が弱いとか、この点を具体的にといった審議会とのやり取りは可能なのか。	そういうことになる。地域では色々な意見があると思うが、それを集約して地域の方向性を示していただきたい。方向性がハッキリすれば、校区審議会も一歩踏み込んで協議に参加出来るのではないか。検討を要する事項について、顔を突き合わせての意見交換も十分可能となる。
7	地域が取り組めることには限界がある。例えば、タブレット端末を使っての授業を考えても、地域が予算を持っている訳ではない。そういうことを教育委員会に要望してもいいのか。	予算を伴うことは関係部署との協議が必要になるので、要望どおり実施するとは現段階で言えない。しかし、まずは要望を出していただかないと協議も出来ない。色々な可能性を否定しない議論をお願いしたい。

「明治地区の教育を考える会」との意見交換会概要

	主な意見、質問等	質問に対しての回答
8	この問題は、まず地域が知ること、興味を持つことが一番と考える。学校やＰＴＡ以外にも色々な団体が出来ることを考え、地域の問題として腰を落ち着けた議論をしなければならない。子供たちの声は地域を明るくする。色々な意見があると思うが、子供たちが安心して地区で学べる環境づくりをしていきたい。校区審議室には、小規模校としての成功例があれば視察は出来ないか要望している。色々な例を参考にしつつ、明治地区として取り組めること協力出来ることを考えていきたい。	―
9	統合なら世紀小という話も出ているが、今、東郷小との関わりが深く、例えば東郷小と一緒に大正小と統合する方向性は無いのか。東郷小と明治小が一緒になり新設小学校という可能性は無いのか。	可能性としては、色々な方向があると思う。しかし明治地区の意見を集約した後には、相手側との調整も必要である。相手側も同調すればあり得る話ではある。結論は決まっていないので、そういった議論も深めていただきたい。
10	今日の参加者数を見てガッカリした。こんなことでは駄目だと思う。	ご要望があれば、何回でも足を運びたい。
11	小学生の数は少ないが、学校の行事の際には高齢者や地域の協力も得られている。これは地域の魅力だと思うが、主役は子供たち。子供たちはどう思っているのだろうか。今の小学生や中学生、高校生といった子供たちの意見を大事にしなければいけないと考えている。	他の地域でアンケートを取っている話も耳にする。その対象は、保護者であったり、地域であったり、子供たちであったり、独自に取り組まれている。校区審議会としてアンケートをして下さいとは言わないが、意向確認の一つの手段ではないかと思う。
12	今何故、統合話なのかが分からない。確かに子供の数は減っているが、これをどう防ぐか、今の形でどう解決していくかを優先し、教育委員会も問題解決に取り組むべきである。人数が減るから統合というなら時代をマイナス方向に進めることになる。地域から意見を出すことに取り組む必要はあると思うが、教育委員会も解決策を探って欲しい。一つの例として湖南地区があり成功しているが、これは教育委員会の強い指導性と予算を投じて完成したものだ。湖南で出来たなら明治でも出来るはず。明治だからこその新しい教育のあり方を強力に推進して欲しい。学校の近くに住んでいるが、子供たちは生き生きと素直に学んでいる。小さいからマイナスとの短絡的な思考はいかがなものか。	―
13	一つの方向として第三の学校という案もいいのでは。明治と豊美が一緒になり、さらに小中一貫校にするとかの可能性があってもよいのでは。	可能性を否定するものではない。
14	地域としての意見を報告する期限はいつまでなのか。	Ｈ２６年度当初の答申が今の目標で、それまでにある程度の方向性が出されているとありがたい。ただし、いつまでに必ず出しなさいとは言ってない。議論をしているがまだ結論が出ていないという状況は考えられるし、校区審議会もその状況に応じた対応になると考える。

「明治地区の教育を考える会」との意見交換会概要

	主な意見、質問等	質問に対しての回答
15	小規模化が問題という考えで対応が求められているが、全国的な問題なのに他の市町村の状況が分からない。校区審議会の会長は南部町の例を上げているが、地理的な面や児童数などの状況が全く分からない。南部町を含めて先進事例の資料をいただきたい。	資料提供はさせていただく。地域の要望があるなら、先進地視察に市有バスの配車が出来ないかなど検討したいと考えている。
16	小規模校転入制度によって子供の受け入れが進んでいたなら、今回のような話に至っていないと思う。そのためには授業内容などに特色を持たせないといけない。魅力的でないから制度の利用が少ないのではないか。特色のある授業内容などをＰＴＡが提案すれば取り組んでもらえるのか。	湖南学園を立ち上げた際には、地域の要望に基づきコミュニケーション能力向上に特化した「コミュニケーション科」という科目が考えられたと聞く。地域としてこういう教育に取り組みたいとの議論もお願いしたい。教育の中身については、学校教育課の指導主事も一緒になって協議をさせていただきたい。
17	地域として、どんどんアピールしていかないといけない。色々なことを提案していかなければいけない。	―
18	小規模転入制度で、小学校の魅力ある取り組みについて考えていく時、それをアピールする手段がない。今のポスターは、制度と小学校名の紹介だけで魅力が感じられない。明治小が市内の児童や保護者に魅力的な取り組みを紹介しようとしても、あのポスターでは十分に伝わらない。独自の取り組みを紹介し明治小に特化したポスターに出来ないか。	検討させていただく。
19	統廃合については前区長から７～８年前に話を聞かされ、それ以後は聞いていない。今日の話は、統廃合を突きつけるのではなく、地域で議論していきましょうという提案だった。存続の可能性もあるという。地域ごとに話したり、各種団体と協議したり、先達と話したりすることが必要だと思う。今日で考える会は２回目だが、実質的なスタートは今日かも知れない。地域には統合が具体化してきたと思い込んでいる人も多いが、学校存続のため一致団結して地域の活性化につなげたい。私の地区は明治小校区ではなく、色々な意見もあると思う。そんな意見をすり合わせながら、ある程度の目安を答申の時期を睨んで出していかなければいけない。	―
20	今日は人数が集まらなかった。参加した人が説明してもなかなか実感がわかない。新聞で発信したりテレビを利用してＰＲするなどの考えは無いか。そういうメディアを活用すると関心のない人も注目するようになると思う。	チラシを配布する予定はあるが、テレビを使ったり新聞を使うなどは想定していない。やはり直に出向いて対面で説明し、意見交換していくのが一番伝わるのではないかと考えている。
21	今の話は考える会で働きかけるべきだと思う。市にお願いすることも出てくるが、この会で出来ることはさせていただく。	―

「明治地区の教育を考える会」との意見交換会概要

	主な意見、質問等	質問に対しての回答
22	今日の出席者が少なく責任を感じている。どういう形で意見を取りまとめるのか。参加の呼びかけ範囲をどうするのか。各種団体、ＰＴＡ、そのＯＢなど、人数が少ないとみんなの意見として集約しにくい。沢山の意見の中から明治の意見としてまとめていくべきだと思う。	―
23	意見が言いたい方は全て、地区民全体が考える会の会員でいいと思う。地域で議論をというのは、一応の方向性を出さないと、校区審議会として結果が残せないという理由からだろう。前々回の審議会を傍聴してそう感じた。来年の４月までに、明治の議論がどれだけ進むか疑問も残る。存続の支持が多いといった方向性を示せればと思っている。議論は続けていくが、子供のことだけでなく、村づくりや生涯教育も含めて考えたい。今日の会に参加した方が考える会の役員で、参加していない方も会員として考えていただく。この考えでどうか。	―
24	反対意見こそ問題を解く鍵となる。だから反対意見を多く聞きたい。その意見がクリア出来れば、プラスに転じると思う。単独存続に反対する意見を数多く出してもらうことが重要ではないか。	―
25	各区長を通じてこの議論を広くＰＲし、色々な意見が積極的に出てきて欲しい。ＰＴＡも説明会を開いて認識を深めていただきたい。地域として議論することが明治を良い方向に進めるきっかけになる。	―
26	区長会から各区長を通じて、説明会等に住民が積極的に参加するよう呼びかけて欲しい。このような形で考える会を進めていきたいがどうか。	―
27	各区長が住民に問題を提起して意見をまとめてはどうか。説明会への参加も大切だが発言することこそ重要。地域としての前に、村としての意見をまとめることが先決ではないか。その方が色々な発言が集まる。	―
28	村の行事など住民が集まる機会に話をしてみることとする。村単位での意見集約も視野に入れつつ、併行して全戸配布も考えて広く広報を行いたい。	―
29	今回の要望も含めて、教育委員会には再度説明して欲しい。そのアプローチがあってこそ地域の議論も深まる。何度も足を運んでいただきたい。そうすれば、明治版の教育のあり方が見つかるのではと思っている。	勿論、何度でも説明させていただく。